数研『理数探究基礎』（理数/702）観点別特色

（１）内容

・豊富な内容が紹介されており，生徒が主体的に探究を進める中でわからないことが出てきたときに調べる教科書として十分な内容が扱われている。また，具体的な例を挙げて説明しているので，わかりやすい。

・巻頭で「科学とは」「科学的とは」について扱っており，科学的な探究とするための考え方を学んでから探究に取り組むことができるように配慮されている。

・探究を行うときに初めに取り組む「テーマの設定」では，テーマの方向性や題材の見つけ方が列挙されており，生徒が自分にあった手段でテーマを考えていくことができるように配慮されている。また，生徒が考えたテーマを具体化していく過程についても，ブレインストーミングやマインドマップなどが例示されており，わかりやすく説明されている。

・実験方法や調査方法について，測定や観測の精度，検証対象の性質などに分けて紹介されているので，生徒が設定したさまざまなテーマに対応するこができる。結果の分析方法についても，実験・調査で得られたデータの性質やサンプル数にあわせて選ぶことができるように，さまざまな分析方法が紹介されている。

・データを分析する際に必要となる統計学については，第3編で基礎的な内容から順を追って解説しているので，統計学的手法を基礎から学ぶことができる。

（２）構成・分量

・科学的な考え方や研究倫理などのルールを初めに学習してから，探究の流れにそって探究の進め方を解説しており，指導しやすい構成である。

・「第1編　探究の流れ」は，節の初めにその節で行うべきことの意図や目的を示しているので，探究の各過程の必要性を生徒に理解させたうえで主体的に探究に取り組ませることができる。また，節末のPointでは，節の重要な内容・確認すべきことが簡潔にまとめられているので，生徒が確認しやすい構成となっている。

・第2編では，実験・観察・調査の方法が「はかる」「見る」など7つに分けて紹介されているので，生徒が設定したテーマにあった検証方法を調べやすくなっている。

（３）表記・表現及び使用上の便宜

・項目タイトルが色枠で目立つデザインとなっており，生徒が自分の探究テーマにあった内容を見つけやすくなっている。また，第1編では，右ページにインデックスがついているので，指導の際に生徒に参照させやすい。

・具体例が豊富に掲載されているが，具体例の前後に二重線を入れて本文と明確に区別し，生徒の理解度に応じて取捨選択して学習できるよう配慮されている。

（４）その他

・前見返しの理数系分野学問マップでは，高等学校で学ぶ理数系教科が大学のどの学問につながっているかが示されており，進路を考えられるようになっている。また，先行研究などを調べる際に，探究テーマがどの分野の内容であるかを，理数系分野学問マップから調べることができる。

・後ろ見返しのチェックシートでは，探究を進める際に確認すべき事項が1ページにまとまっており，生徒が手軽に探究の進め方を確認できるように配慮されている。